

「BEAUTY CROSSING GINZA」第4弾
「Les Parfums Japonais —香りの意匠、100年の歩み—」

11月2日(水)～12月25日(日)

開催のお知らせ

資生堂ギャラリーでは、2016年11月2日(水)から12月25日(日)まで、銀座から文化を発信するプロジェクト「BEAUTY CROSSING GINZA」*の第4弾の一環として、「商品の芸術化」をめざした資生堂の香水瓶展「Les Parfums Japonais (レ・パルファム・ジャポネ) —香りの意匠、100年の歩み—」を開催します。

* 銀座に立地する資生堂の4つの拠点(資生堂銀座ビル(Ginza Communication Space)、資生堂ギャラリー、資生堂パーラービル(東京銀座資生堂ビル)、SHISEIDO THE GINZA)から同一テーマで文化を発信する2016年よりスタートしたプロジェクト

1910年代後半、化粧品事業に主軸をおいて経営に乗り出した初代社長の福原信三は、パリの芸術文化への憧れとともに、「香りを芸術まで高めたい」という想いで西欧の香水に勝るとも劣らない日本のオリジナリティあふれる香水づくりをめざしました。福原信三は、芸術とビジネスのコンビネーションを常に念頭におき、自らの化粧品づくりの姿勢を「商品の芸術化」という言葉で表しました。福原信三は化粧品製造にあたって西欧文化の消化に努め、それを栄養素としながらも、日本の美意識をベースに、製品の細部にまでこだわった日本発の本物を生み出そうとしました。この「商品の芸術化」という精神は、今日の資生堂の商品開発まで受け継がれています。



「商品の芸術化」をめざした
福原 信三

この度、資生堂ギャラリーでは、福原信三が憧れたパリの芸術文化の一端を示すフランスの香水瓶とともに、福原信三が自ら手がけた初期の資生堂の香水瓶と「商品の芸術化」の精神を受け継ぐ現代の香水瓶(約40点)を展示します。

ガラス工芸家 ルネ・ラリックがデザインした香水瓶を始めとするフランスの香水瓶は、初期の資生堂がめざした格調ある西欧の香水瓶の魅力を放ちます。また、「梅」や「セレーナーデ」など資生堂が戦前に完成させた日本的なスタイルの香水には西欧の香水瓶とは一線を画す独自のデザイン的な豊かさがみなぎっています。これらと併せて展示する現代の資生堂デザイナーが生み出す香水瓶にも独自のデザイン感覚を感じ取っていただくことができれば幸いです。



資生堂香水「セレーナーデ」
1934年

展示空間の演出は、インタラクティブ・アート／デザインのグループ「plaplax(プラプラックス)」とのコラボレーションにより、香水瓶の魅力を引き出します。ギャラリーの空間全体から深みのある香水瓶の世界をお楽しみください。

なお、同時期に資生堂銀座ビルでは、戦後から現代に至る資生堂製品の香水瓶(約50点)、SHISEIDO THE GINZAでは、「セルジュ・ルタンス」の香水瓶、資生堂パーラービル（東京銀座資生堂ビル）では、「現代詩花椿賞」の受賞者に贈呈された特製香水入れを展示します。

施設名	展示概要	会期
資生堂銀座ビル (Ginza Communication Space)	・1F ウィンドーテーマ「水の波紋」 ・2F 戦後から現代に至る資生堂製品の香水瓶(約50点)	9月26日(月)～12月22日(木)
SHISEIDO THE GINZA	・2F 「セルジュ・ルタンス」の香水瓶	11月17日(木)～12月下旬
資生堂パーラービル (東京銀座資生堂ビル)	・1F 展示コーナー「現代詩花椿賞」の受賞者に贈呈された特製香水入れ	11月2日(水)～12月25日(日)

■コラボレーション作家「plaplax」について

近森基、久納鏡子、笈康明、小原藍をメンバーとするクリエイティブ集団。主に横断的な領域であるインタラクティブ・アート分野における作品制作を手がける。作品制作で培った技術やセンスを活かし、公共空間、商業スペースやイベント等での空間演出や装置・コンテンツ制作、プロダクトデザイン、大学や企業と共同での技術開発など幅広く活動している。

■「Les Parfums Japonais —香りの意匠、100年の歩み—」開催概要

主催：株式会社 資生堂

会期：11月2日(水)～12月25日(日)

会場：資生堂ギャラリー

〒104-0061 東京都中央区銀座 8-8-3 東京銀座資生堂ビル地下 1階

tel. 03 -3572 -3901 fax. 03 -3572-3951

URL: <http://www.shiseidogroup.jp/gallery/> (資生堂ギャラリー)

平日 11:00～19:00 日・祝 11:00～18:00 毎週月曜休 (月曜日が祝日にあたる場合も休館)

入場無料

■関連企画

「香りを楽しもう —資生堂のパフューマーによる香りのワークショップ—」

日時：12月4日 14:00—16:00

定員 20 名 材料費:500円（お申し込み多数の場合は抽選となります）

詳細とお申込みについては、10月下旬より、資生堂ギャラリーウェブサイトにてご案内予定です。

お問い合わせ：資生堂ギャラリー tel. 03-3572-3901 fax. 03-3572-3951

■参考展示品画像



L.T.ピヴェール社「アズレア」
1901 年



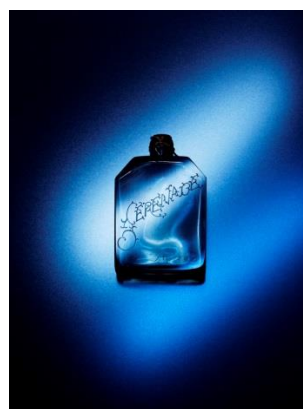
コティ社「花摘み」
ルネ・ラリック作
1912 年頃



資生堂香水「花椿」
1917 年



資生堂香水「梅」
1918 年



資生堂香水「セレナーデ」
1934 年

本展に関するお問い合わせ先	〒104-0061 東京都中央区銀座 7-5-5 株式会社 資生堂 企業文化部 担当:伊藤・小野寺 tel. 03-3575-5432 fax. 03-3575-5429 (10:00~17:00 土日祝休) e-mail: kenichiro.ito@to.shiseido.co.jp natsu.onodera@to.shiseido.co.jp
写真資料請求先	資生堂ギャラリー 担当:永田・大橋 tel. 03-3572-3901 fax. 03-3572-3951 (11:00~18:00 月曜休) e-mail: ayako.nagata@to.shiseido.co.jp noriko.ohashi@to.shiseido.co.jp